

梅の木のアブラムシ殺虫効果検証

【アブラムシの殺虫効果検証】

2023年5月28日

梅の木にアブラムシが大量に発生していたため、大和培養液Cを散布して、殺虫効果を検証した。

散布前の様子



2023年5月28日 12時35分
アブラムシのような虫が大量発生している葉に、大和培養液C500倍希釈水を散布した。

散布前の葉は、葉面がベトベト状態であった。

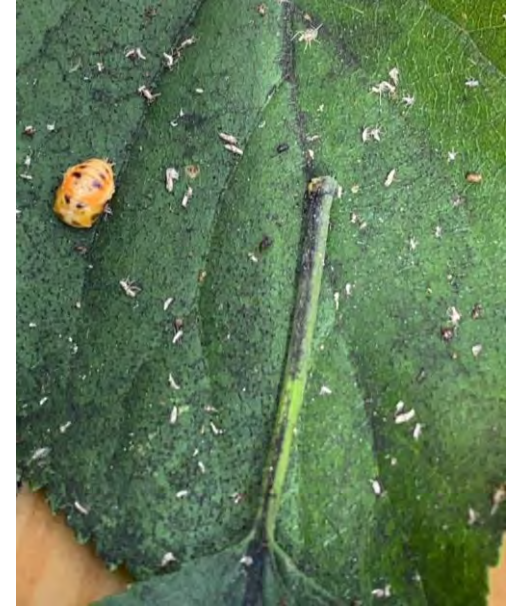
葉はベトベト状態

散布から20分後 12時52分



アブラムシとテントウムシが死んでいるのが確認された。

散布から4時間後



ベトベトしていた葉が乾燥し、分泌液がパリパリになった。

Bacillus velezensis YBL2株が生成する3種の環状リポペプチド(作物の成長促進と免疫力増強する酵素)は、界面活性物質でもあるため、昆虫の気門(胴体横に複数有る呼吸器)を希釈水が覆い、窒息死したと考えらる。

また、Bacillus velezensis YBL2株が生成した脂質分解酵素が、アブラムシが分泌した脂状のモノを分解しパリパリの状態にしたと考えられる。